

通常総会・議事録

令和3年6月29日午後2時から午後2時58分に、甲府市丸の内一丁目13番7号の山梨県建設会館3階大会議室において、通常総会を開催した。

定刻に司会者飯野事務局長は通常総会の開会を宣言し、本日の通常総会は、出席者が次のとおり定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

正会員数 26名

出席正会員数 26名 (通常決議に必要な過半数を満たす)

うち本人出席 21名

委任状出席 5名

[会長あいさつ] 浅野会長

令和3年度の山梨県建設産業団体連合会の通常総会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げる。

本来は、6月18日に開催する予定で、来賓として長崎知事、大儀県土整備部長をお招きしていたが、山梨県が新型コロナウイルス感染拡大の「重大な局面」という大変な状況になり、知事より6月20日まで会議等の自粛要請が出されて延期となり本日の開催になったところである。

山梨県建産連の会員の皆様方には、日頃から建産連の活動に対して、ご理解とご協力を頂いていること、また、本日の総会に、多数の方にご出席をしていただき、対面方式で開催できることに対して感謝申し上げます。

さて政府が打ち出している公共事業投資額は、これまで 防災・減災国土強靱化計画の3カ年緊急対策として計上されていた7兆円が拡充されて、今年度より5カ年の加速化対策ということで、約15兆円の予算が確保される見通しであり、私どもにとって先行きの明るい、大変心強い計画が公表されている。

また、この計画の見直しに連動して、山梨県においては第4次社会資本整備重点計画を3年間延長する形で、2025年までにおおむね4,600億円が確保されるということで、大変ありがたく感謝申し上げますと同時に、社会資本整備の担い手として、身の引き締まる思いである。

山梨県における基幹産業である、建設産業界は、建産連のような様々な組織形態で構成されており、総合建設業団体、専門工事業団体、建設資材製造業団体、測量・設計業団体など多様な団体からなる連合組織であり、互いに連携して、地域の雇用を確保し、地域経済を支え、社会資本整備に多くの人間が関わっている。

突然の災害発生時には、一早く災害現場に駆けつけ、県民の安全・安心を確保するために、建設産業界全体が協力し合い、国や県などと結ぶ災害協定に基づき活動する訳であるが、このような体制を維持して行くためには、先が見える安定した経営が、確保されることが、大変重要である。

このような建設産業で、目下の最重要課題とされる「担い手の確保・育成」や、「働き方改革への対応」のための、「週休2日制への取り組み」などに関して、国を上げて取り組みが進められており、本連合会しても避けては通れない課題と考えている。

これらについては、官民一体となって、技術者や技能労働者、とりわけ現場の第一線で働く現場作業員の処遇を改善する方策や、工事発注の平準化の推進など、地方の会員企業が、適正利潤を確保できるようにした上で、若年入職者の確保・定着が、求められているところである。

これらの諸課題解決のために、安定的な予算総額の確保と既設公共施設の維持・修繕に必要な事業予算を、積極的に確保していただくよう、また、建設産業界の、安定的経営に資するため、施工時期の平準化に、更に取り組んでいただくよう、各発注者をお願いしていきたいと考えている。

特に、毎年の主要事業である、知事との意見交換会をコロナの状況を見ながら、10月以降に開催して、各会員団体からの意見・要望を直接知事並びに県幹部にぶつける機会を設けたいと考えている。

今年度も山梨県建産連に対して、更なるご支援、ご協力を賜るよう、お願いし挨拶とさせていただくが、先ほどの開会のことばの通り、本日は令和3年度の総会であり、今年度は役員の変更もあるので、会員の皆様には、温かいご協力とご支援をいただきながら、総会がスムーズに進むようお願い申し上げる。

[議 事]

次いで定款第18条の規程により、会長浅野正一が議長となり、議長は議長席に着き、直ちに議案の審議に入った。なお、議事録署名人については、出席会員の中から山梨県造園建設業協会の依田忠会長と、山梨県建築設計協会の佐野正秀代表理事を議長が指名して、全員の了解を得た。

第1号議案 令和2年度事業報告並びに収支決算承認の件（監査報告）

（説明の概要）令和2年度事業報告の概要が、3ページの上段にまとめてあり、その下には具体的な個別事業の実施状況として1～6.まで項目を示してある。これら事業の詳細として3ページから7ページにかけて、「意見交換会・要望等の実施」「会議・研修・講習会等の開催」「全国会議等への出席」「関係資料等の配布・文書の通知」の区分でまとめてある中で、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業やポイントとなる事業についてのみ建産連の会員の参加数を補足的に説明しながら、飯野事務局長が報告を行なった。

9ページ以降の令和2年度決算書関係については、(1)貸借対照表、(2)正味財産増減計算書、(3)財産目録、(4)収支計算書、により構成されていて、飯野事務局長が簡潔に説明を加えた。

まず14ページの収支計算書から説明をする中で、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった事業があったため、収入の決算は2,354千円に対して支出の決算合計は1,215千円で収支差額は1,139千円となった。前期の繰越金が30千円だったので、差し引きして次期繰越金1,169千円となった。

11ページに戻って「貸借対照表」の中で、流動資産は普通預金の合計1,169千円でその他資産は無いので、正味財産合計が1,169千円となっていて負債合計を引くと前年度から1,139千円の増額となっている。



12 ページは正味財産増減計算書で、前年度と当年度の決算の差額を科目別に示してあり、13 ページは財産目録である。

(監査報告)

説明後、2名の監事を代表して千野監事より監査報告がなされ、特に質疑もなく、全員了承の拍手を持って承認された。

第2号議案 役員任期満了に伴う改選の件

飯野事務局長が出席会員からの事務局（案）提示の発言を受けた議長からの指示により原案を提示した。

(説明の概要)

定款により、今年の通常総会の終結の時までが、現役員の任期であることを説明し、総会終了後から新しい理事・監事の任期が始まるということを説明した上で、新たな役員（案）を下記の通り示して満場一致をもって承認可決された。また、被選任者は総会終了後からの就任を承諾した。

記

理事	浅野 正一	(一社) 山梨県建設業協会 会長
”	佐々木 幸一	(一社) 山梨県建設業協会 副会長
”	桜井 義明	(一社) 山梨県建設業協会 副会長
”	丹澤 淳人	(一社) 山梨県建設業協会 副会長
”	大石 秀世	(一社) 山梨県測量設計業協会 会長
”	渡邊 一郎	(一社) 山梨県管工事協会 会長
”	瀧田 雅彦	山梨生コンクリート協同組合 理事長
”	依田 忠	(一社) 山梨県造園建設業協会 会長
”	杉田 宗利	山梨県塗装工業会 会長
”	雨宮 和仁	(一社) 山梨県電設協会 会長
”	井上 聡一郎	山梨県砂利組合連合会 会長
”	相川 幹夫	山梨県土木コンクリートブロック協同組合 理事長
”	雨宮 健一	(一社) 山梨県建築士会 会長
”	佐野 正秀	(一社)山梨県建築設計協会 代表理事
会員外理事	大久保 勝徳	(一社)山梨県建設業協会 専務理事
監事	千野 進	山梨県山砕石事業協同組合 理事長
”	小田切 昭	山梨県重機・建設解体工事業協同組合 代表理事

第3号議案 令和3年度事業計画並びに同収支予算報告の件

飯野事務局長より説明した。

(説明の概要)

21 ページ以降に令和3年度事業計画が掲載してあるが、前年度と大きな枠組みは変わっていない。

1.～6.の柱の中で特に2-1) の県知事並びに県公共事業発注機関の幹部との意見交換会をコロナウイルス感染症の様子を見ながらではあるが、今年度は実施したいと考えている。

22 ページの令和3年度収支予算については、飯野事務局長から簡潔に説明を加えた。

予算書編成は、昨年とほぼ同額の収入を予定しており、事業費支出については、情報活動費を意見交換会の拡充開催を図るため、150千円を増額計上したこと、などを説明した。

(説明の概要)

[収入の部]

・一般会費、賛助会費については、前年度と同額の設定で、助成金収入は、建設業振興基金より、研修会・講習会に対する助成金880,000円を計上している。雑収入と合わせ、事業活動収入の合計 3,100,000円の予算設定。

[支出の部]

事業費支出については、

・情報活動費を15万円増額の50万円の設定。調査研究研修事業費は、1,220,000円の設定。負担金のところは、全国建産連の会費が70万円で政治連盟会費と合わせ73万円の設定。

以下、旅費交通費、通信費、印刷費、事業雑費は、ほぼ前年度と同額を計上。

管理費支出 についても、前年度とほぼ同額の設定としている。

以上、事業活動の支出合計は、3,300,000円で、当期の収支差額が、200,000円のマイナスとなる。

前期繰越金が、1,169,361円あるので、流用させていただき次年度への繰越金は、969,361円となる予算設定。

以上、事業計画及び収支予算書について説明後、議長より第3号議案は報告事項であるので、質問がなければその他に移ることを発言したところ、特に出席正会員から質疑もなく、全員の了承を得た。

その他

その他事項については、特に会員からの提案もなく、議案についての審議はすべて終了となった。



出席理事 浅野 正一
佐々木幸一
丹澤 淳人
大石 秀世
渡邊 一郎
瀧田 雅彦
桜井 義明
依田 忠
杉田 宗利
雨宮 和仁
井上聰一郎
相川 幹夫
雨宮 健一
佐野 正秀
大久保勝徳

出席監事 千野 進


議事録作成者 代表理事 浅野 正一



上記議事の経過の要領及び結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人は下記に署名する。

令和3年6月29日

議長 浅野 正一 

議事録署名人 依田 忠 

議事録署名人 佐野 正秀 